

## 第3回国連防災世界会議に参加した各国・機関の要人と 国土交通省幹部の会談の概要(まとめ)

※各項目冒頭の番号は「別紙-1」の番号に対応しています。

### ① 太田大臣とマレーシア国ムヒディン・ヤシン副首相兼教育大臣との会談

(3月19日(木)13:00~13:30 於仙台)

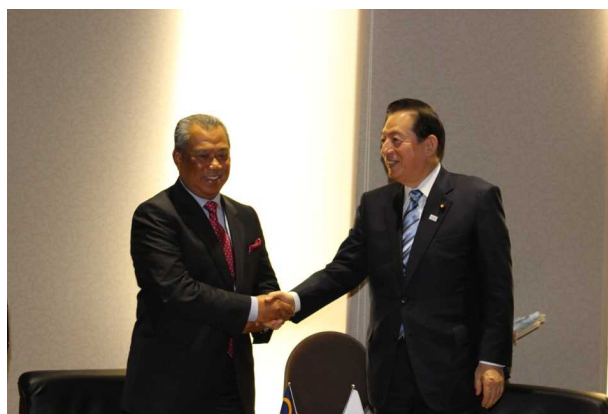
マレーシア・ムヒディン副首相との会談では、今後、防災協力を深めることで合意し、そのための協力覚書を作成することとなりました。

太田大臣から、マレーシア・シンガポール高速鉄道について、我が国の官民が一体となって支援していく考えであることを表明しました。ムヒディン副首相は今回利用してみて新幹線の素晴らしさをよく理解できたと述べました。

注) 本会談の概要は、下記により、既に発表済の内容を再掲するものです。

・第3回国連世界防災会議での太田大臣の発言及びマレーシア・トルコ要人との会談結果について

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000877.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000877.html)



### ② 太田大臣とトルコ国ヌーマン・クルトゥルムシュ副首相との会談

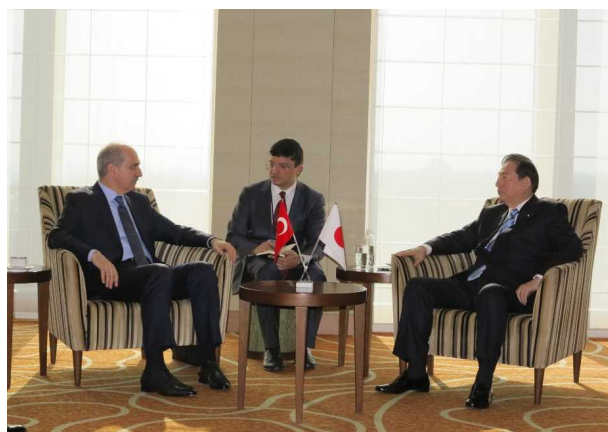
(3月19日(木)14:30~15:00 於仙台)

トルコ・クルトゥルムシュ副首相との会談では、防災、インフラ、観光などの分野における協力について幅広く意見交換を行いました。防災については、両国が進めてきた防災協働対話をさらに深めることで一致しました。

注) 本会談の概要は、下記により、既に発表済の内容を再掲するものです。

・第3回国連世界防災会議での太田大臣の発言及びマレーシア・トルコ要人との会談結果について

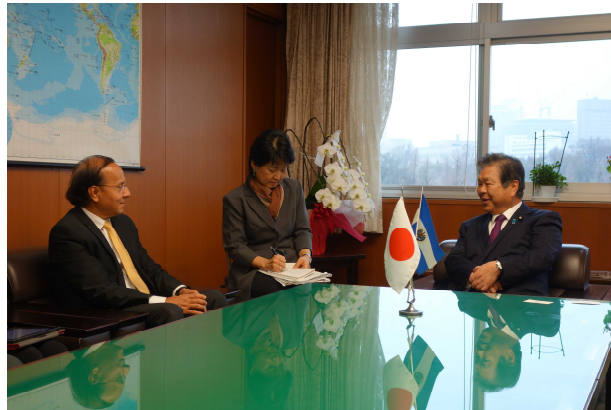
[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000877.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000877.html)



③ 北川副大臣とエルサルバドル国ヘルソン・マルティネス公共事業・運輸・住宅都市開発大臣との会談（3月19日（木）15:00～15:30 於東京）

マルティネス大臣は、東北の被災地ではまさに「ビルドバックベター」が行われていると述べ、土砂対策など日本の事前対策技術は世界の中でもトップレベルでエルサルバドルが最も必要とする技術であると述べられました。

これに対し、北川副大臣からは、地震や地滑りなど共通の災害で悩まされている両国の経験・知見を共有することは意義深く、今後も JICA 等と連携してできる限り協力していくことを表明しました。



④ 西村副大臣とブラジル国ジルベルト・オッキ国家統合大臣との会談

（3月15日（日）13:45～14:15 於仙台）

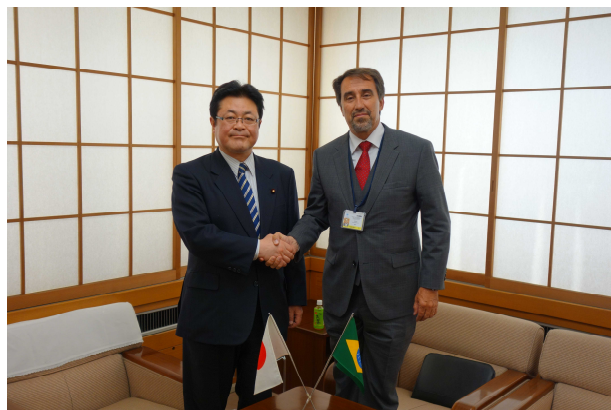
西村副大臣は、東日本大震災におけるブラジルからの支援に感謝するとともに、ブラジルは日本にとって大切なパートナーであり、防災・減災を進めるために、両国で災害に関する経験を共有していきたいと述べました。

オッキ大臣は、土砂災害分野の二人の専門家を国土交通省推薦で派遣するなどの協力に感謝の意を表すとともに、現在アマゾン川上流で発生している洪水の被害状況に関して説明され、両者は、今後洪水や土砂災害等に関する防災分野において、協力関係をさらに深めることで一致しました。

注) 本会談の概要は、下記により、既に発表済の内容を再掲するものです。

・第3回国連防災世界会議での西村副大臣の発言及びブラジル・南アフリカ要人との会談結果について

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07\\_hh\\_000326.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000326.html)



⑤ 西村副大臣と南アフリカ国プラヴィン・ジャムナダス・ゴードン協調統治・伝統業務大臣との会談（3月15日(日)14:50～15:20 於仙台）

ゴードン大臣は、日本における防災、鉄道整備・運用、都市計画分野での国と自治体の役割分担や政策について熱心に質問されました。

西村副大臣は、東日本大震災の際、南アフリカがいち早く援助隊を派遣したことに感謝の意を表するとともに、東日本大震災からの復興や鉄道整備の事例を具体的に示しつつ日本の政策について説明し、今後も日本の経験を共有し、南アの発展に貢献することで一致しました。

注) 本会談の概要は、下記により、既に発表済の内容を再掲するものです。

・第3回国連防災世界会議での西村副大臣の発言及びブラジル・南アフリカ要人との会談結果について

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07\\_hh\\_000326.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000326.html)



⑥ うへの政務官と欧州委員会クリストス・スティリアニデス人道援助・危機管理担当委員との会談（3月13日(金)17:00～17:30 於東京）

スティリアニデス委員は、防災や開発、第3国における人道援助など日本とEUとの防災協力をさらに拡大していきたい旨発言されました。

これに対し、うへの政務官は、国土交通省とEUとのこれまでの防災協力の取り組みについて触れ、この協力をさらに深めていくことが大切である旨発言しました。



⑦ うえの政務官とアゼルバイジャン国ラジム・ラティフオフ非常事態省次官との会談

(3月16日(月)13:40～14:10 於東京)

うえの政務官は、日本とアゼルバイジャンが災害対策に対する取組を共有し、防災分野における協力を進めることは両国にとってメリットがあると発言しました。

これに対し、ラティフオフ非常事態省次官は、アゼルバイジャンも日本と同様に地震、地滑りなど災害が多く日本から学びたいと述べ、両国の交流をさらに進展させていくことで一致しました。



⑧ うえの政務官とベトナム国ホアン・ヴァン・タン農業農村開発省副大臣との会談

(3月18日(水)15:45～16:15 於東京)

うえの政務官は、2013年に大臣間で署名された防災協働対話の枠組みに関する覚書に基づく協力について順調に進んでいると述べ、今後も関係機関とともに協力を進めていきたい旨発言しました。

これに対し、タン副大臣は、これまでの国土交通省の支援によるセミナー開催や現在派遣している JICA 専門家について感謝を述べるとともに、両国の協力をさらに進展させていくことで一致しました。



⑨ 徳山技監とスリランカ国T.M.K.B.テナコーン治安・災害管理・キリスト教次官との会談

(3月18日(水)13:30～14:00 於東京)

徳山技監は、国連防災世界会議において災害管理大臣を筆頭に代表団を派遣いただいたことに対して、ホスト国として感謝を述べるとともに、お互いの経験を交換し、さらに両国の技術が発展するように協力していきたい旨発言しました。

これに対し、テナコーン次官は、国土交通省から派遣している土地利用計画や地滑りに関するJICA専門家の活動を高く評価していると述べ、今後も災害管理の分野で両国の協力をさらに進展させていくことで一致しました。



⑩ 徳山技監と世界銀行エデ・イジャズ・バスケス シニア・ディレクターとの会談

(3月18日(水)14:30～15:00 於東京)

徳山技監は、国連防災世界会議における世界銀行の精力的な活動に敬意を表するとともに、東日本大震災の経験を交えつつ十分な事前対策の必要性と発災直後に取るべき行動の重要性を述べました。

イジャズ・バスケス シニア・ディレクターは、日本の災害の歴史と先進的な防災の取り組みの知見は途上国をはじめとする各国において必ず役立つものであり、国土交通省と連携して世界各国の防災レベル向上に努めていきたい旨述べられました。

